

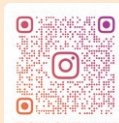
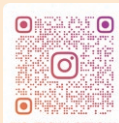
＜理念＞

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

＜基本方針＞

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。
4. 私たちは、情報技術を最大限に駆使して「未来から選ばれる病院」を目指します。
5. 私たちは、病院内に痛みや苦しみがなくなるように全力を尽くします。

板橋中央総合病院公式 SNS



〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分

03-3967-1181 (代表)

<https://ims-itabashi.jp/>



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら
イムス総合サービスセンター (GSセンター) へ



STEP 1 相談

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

STEP 3 受診決定

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間（予約含む）・
対象者さま基本情報等の連絡
【入院（所・居）・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間／平日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30（日祝・年末年始休み）

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

PLAZA IMS

春号 Vol.79

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内や IMS グループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



CONTENTS

進化し続ける肺がん治療

安心して医療を受けるために

— QIMS 委員会の役割と「患者中心の医療」

Itachu News

小児科の土曜午後診療が
開始しました

進化し続ける肺がん治療

近年の肺がん治療の発展は目覚ましく、感慨深いものがあります。
手術方法では、手術創部の小さい手術が当たり前となり（ロボット手術、単孔式胸腔鏡手術）、効果の高い化学療法（分子標的薬、免疫療法）の新薬が次々と登場し、効果をあげています。

今回は、当院が導入した手術シミュレーションシステムについてご紹介いたします。

1) 小型肺がんへの低侵襲治療が標準化へ

2022 年 The lancet に掲載された日本発の臨床試験の結果により、小型肺がんに対する標準治療が大きく変わりつつあります。
具体的には、すりガラス影主体の腫瘍（薄い影の割合が多い腫瘍）[図 1] なら、今までの標準治療である肺葉切除だけではなく区域切除（小さく肺を切除する手術）も選択肢となっています。

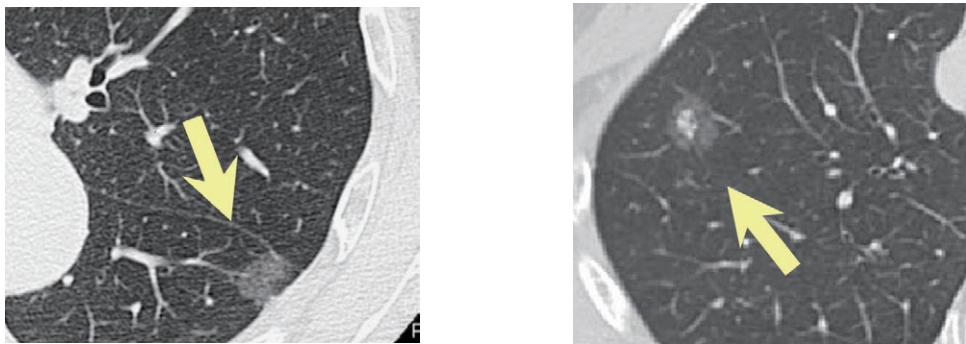


図 1 すりガラス影

肺がんの術式

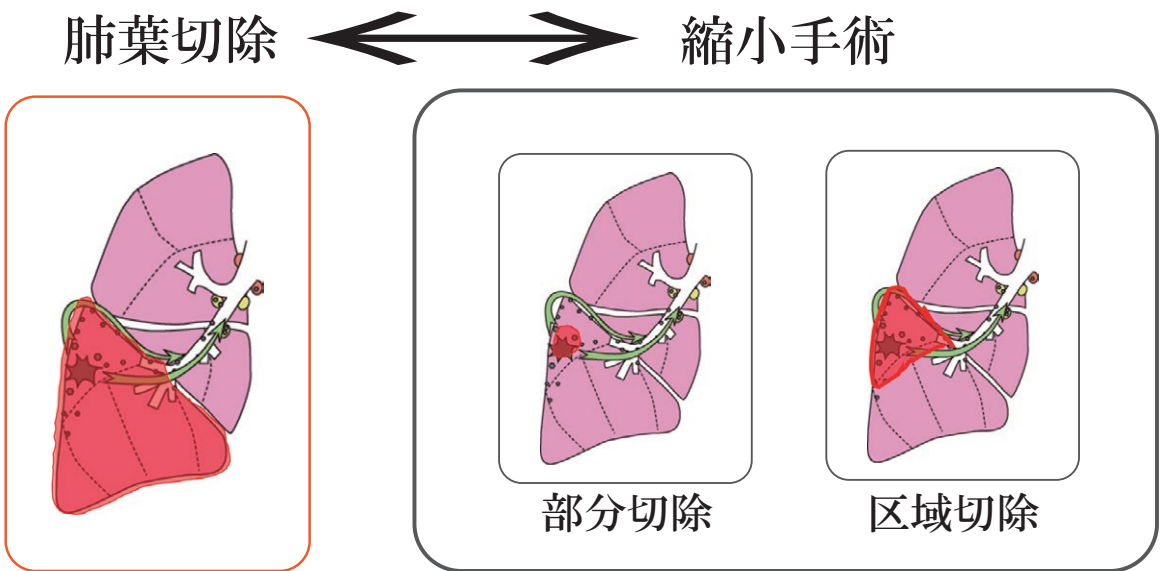


図 2 肺葉切除と区域切除



呼吸器病センター（呼吸器外科）
診療部長 小林 零

2) 区域切除は複雑な作業を伴う

区域切除は、肺葉切除と比較して、より高度な知識・技術が必要である手術であるとも言えます。
その理由は、肺の血管（動脈・静脈）、気管支を今までよりも枝分かれした後で、切除すべきものと残すべきものを見極めて処理をしなければいけないからです。

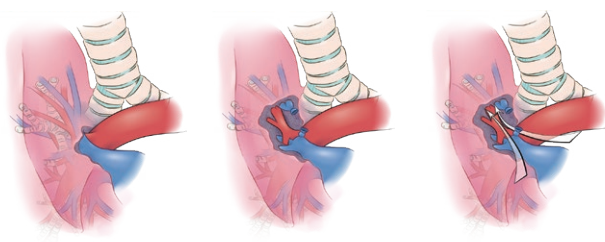


図 3 区域切除では、末梢までの剥離が必要

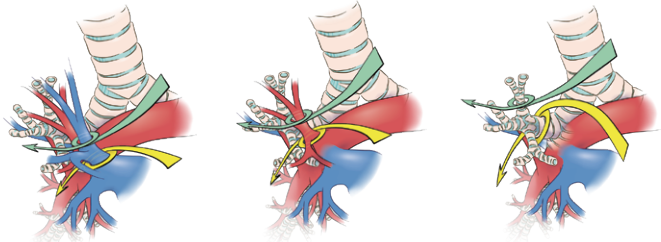


図 4 肺葉切除＝黄色の矢印で切離
区域切除＝緑色の矢印で切離

3) ロボット手術との相性が高い AI 手術シミュレーションシステム

当院では、この度、手術シミュレーションシステム (REVORAS) を新たに導入しました。
この AI の導入により、手術の精度が飛躍的に上がっています。詳しい内容は以下の通りです。
A) 術前に撮影した造影 CT をもとに、肺の構造を 3D 立体モデルで表示します。
B) 腫瘍の位置設定することで、どのような手術が可能かが表示されます。
C) その場合、どの血管、どの気管支を切ればいいのか、どの位置で切離すべきかが自動で解析され、表示されます。ロボット手術では、出血が少ないため、血管や気管支などの構造が観察しやすく、術前に AI で作成した 3D モデルとほぼ同じイメージで手術を進めることができます。

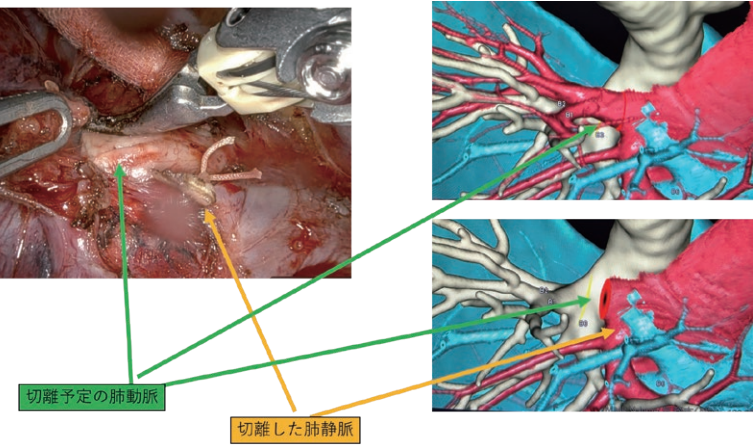


図 5 実際の手術の写真と REVORAS の画面



図 6 昔は模型で確認していたが…

また、ロボットでは、今までの内視鏡手術では困難であった肺の裏に入り込むような手術が可能です。
この場合、我々が慣れていない方向から、血管や気管支を観察し切離などを行わなければいけません。このような手術では、肺を持ち上げた状態（肺を逆方向の斜めから見た状態。つまり慣れていない視野。）で作業を行います、血管・気管支の走行は、複雑な構造であるため、ヒトの理解を超えています。
現在我々は、シミュレーションシステムで作成した 3D 立体モデルを画面上で回転させることで、切除すべき血管・気管支などが安全・確実に判断できます。
ロボットとシミュレーションシステム (REVORAS) の導入により、飛躍的な進歩を肌で感じています。

安心して医療を受けるために

— QIMS 委員会の役割と「患者中心の医療」

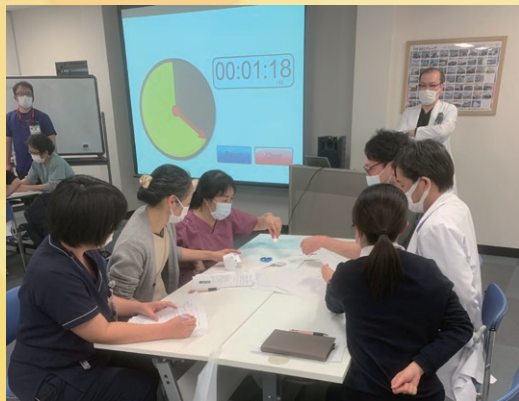
2024年5月1日に当院に設立されたQIMS（Quality Improvement and Patient Safety）センターは、2025年6月より、医療の質改善委員会（QIMS）に発展しました。今回はQIMS委員会（以下、QIMS）の役割と患者中心の医療について、小松康宏委員長と坂本史衣副委員長にお話を伺いました。

インタビュアー（以下、Q）：病院に「QIMS委員会」という新しい組織ができたと聞きました。どんな役割があるのですか？

小松委員長：

はい、QIMSは「医療の質（Quality）と安全（Safety）を改善していくための委員会」です。患者さんにとって安心・安全な医療を提供すること、そしてその医療の質をもっと良くしていくことを目的としています。

病院には、すでに医療安全や感染対策などの専門チームがあります。ただ、それぞれが別々に動いていると、複数の部署をまたぐような問題や複雑なケースには対応しにくいことがあります。たとえば手術に関する説明や同意に関する取り組みは、医療安全管理委員会、臨床倫理委員会、病歴管理委員会、医事課など多くの組織単位が関係します。そうした複合的な課題に対して、全体を見渡して調整し、取り組むのがQIMSの役割です。



◀当院では、医療安全管理委員会が主催する「Team STEPPS」を開催しています。この取り組みは職員の医療安全の再認識と医療の質の向上、患者さまの安全を高めることを目的としています。

Q：QIMSでは、具体的にどんなことをしているのですか？

坂本副委員長：

大きく5つのことを行っています。

- 1つ目は、組織横断的な課題の整理と改善のとりまとめです。
- 2つ目は、医療の質や安全に関する指標を活用しながら、改善につなげること。たとえば院内感染やインシデントの発生状況を見ながら、対策の効果を評価しています。
- 3つ目は、医療の質や安全について、病院全体の意識を高める取り組みです。研修やミーティングを通じて、安全な医療を提供するための文化づくりを行っています。
- 4つ目は、病院機能評価などの第三者評価への対応です。
- 5つ目は、現場のスタッフと一緒に改善に取り組む「相談・支援の窓口」としての役割です。



◀感染対策委員会の症例検討会の様子



◀左 小松 康宏委員長 右 坂本 史衣副委員長



Q：患者にとっては、どんな良いことがあるのでしょうか？

坂本副委員長：

QIMSの活動はすべて、「患者さんにとってより良い医療を届けること」に向けたものです。たとえば、ミスを防ぐだけでなく、治療の効果を高めたり、わかりやすい説明を工夫したり、入院生活の不安を減らしたりと、さまざまな改善に結びついています。

また、「患者中心の医療」という考え方も大切にしています。これは、医療者が一方的に治療を決めるのではなく、患者さんの気持ちや生活、希望を大切に一緒に医療を考えるという姿勢です。患者さんの声をきちんと聞くこと、そしてその声を医療の中に反映することが、安心して治療を受けられる病院づくりにつながると考えています。



◀当院の質の評価指標はこちらからご覧いただけます
板橋中央総合病院ホームページ
<https://ims-itabashi.jp/>

みんなが気になる！診療のQ&A

Q. 良いお医者さんはどう見極めればいい？

良いお医者さんは、医学的知識があると同時に、自分の限界を認めて、必要に応じて「セカンドオピニオン」や専門医の受診をすすめてくれます。また、患者の話をしっかり聞いてくれ、説明したことが正しく伝わっているかを確認してくれます。同時に「相性」、「信頼感」も大切です。

Q. 1回の診療の質を良くしたい

お薬手帳を持参し、これまでの病気の経過や今困っていること、不安に思っていることを前もってメモしておくといよいでしょう。

Q. 安く診療をうけたい

日本の医療は、欧米諸国と比べて格段に安いですが、さらに負担を減らす工夫もあります。総合病院にかかるときは紹介状をもって時間内にかかることで数千円の節約ができます。

Q. 待ち時間早く受診して帰宅したい

日本では比較的、症状が軽くても直接病院を受診できる仕組みが整っており、多くの方が安心して医療を受けられる環境にあります。一方で、英国や米国などでは、待ち時間は少ないですが、診療を受けるためにはかかりつけ医を通じて予約を取り、数週間待つのが一般的です。すぐに専門医にかかる日本の医療体制は、世界的にも恵まれた面がある反面、混雑や待ち時間の長さという課題も抱えています。当院では、少しでも待ち時間を少なくできるように工夫を重ねておりますが、引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



かかりつけ医についての
詳しい解説はこちら！



医療・介護お役立ちサイト



小児科の土曜午後診療が開始しました



2025 年 4 月 19 日 (土) より当院附属の板橋セントラルクリニック小児科にて土曜午後診療が開始しました。受付時間は 12:40 ~ 17:00 です。ご受診の際は、板橋セントラルクリニック 2 階小児科外来までお越しください。

当院の消化器内科 永江 真也医師と古賀 大輝医師が学会で優勝しました！

2025 年 5 月 9 日 (金) に北海道のグランドメルキュール札幌にて開催された、国内最大の日本消化器内視鏡学会の技術コンペティションにて優勝しました。

最新鋭の内視鏡練習モデル「mikoto」スコープの操作や挿入、正確な観察をスコアリングできる次世代医療シュミレーター「mikoto」を用いて上下部内視鏡のスコアで技術の精度・正確性を評価する学会です。当院では、永江先生や古賀先生をはじめ優秀で有望な内視鏡医が在籍しており、日々の診療に邁進しています。

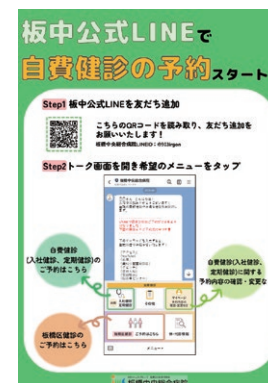


わんぱく相撲板橋区大会にブース出展しました！

2025 年 5 月 25 日 (日) に行われた、第 30 回わんぱく相撲板橋区大会に当院が「わんぱくちからだめし」と題してブースを出展しました。当日は、約 300 名を超える方に参加していただきました。リハビリテーション科スタッフが握力測定や立体パズルを行い、栄養科スタッフが栄養クイズや子どもの栄養相談を行いました。



自費診療の LINE 予約が開始しました



2025 年 4 月 1 日 (火) より当院公式 LINE から自費健診の入社健診と定期健診をご予約いただけるようになりました。LINE の友だち登録をしていただき、トーク画面よりご希望のメニューをお選びください。

栄養コラムの LINE 配信のご案内

2025 年 6 月より当院公式 LINE にて当院の栄養科による栄養に関するコラムを毎月配信いたします。こちらは LINE 配信限定となります。ご希望の方は当院の LINE の友だち登録をお願いいたします。



IMS グループの 70 周年ロゴが決定しました

2026 年 3 月 1 日 (日) に 70 周年を迎える IMS グループの周年ロゴが決定しました。これからも、「愛し愛される IMS」として、時代の流れを先読みし新たな挑戦を続け、患者さまや利用者さま、ご家族、地域住民の皆さま、IMS グループで働く職員を「笑顔」にできるように、成長を成し遂げてまいります。



2025 年度も事務職お仕事説明会を開催します！



中途入職希望者の方を対象に事務職お仕事説明会を開催しています。仕事内容の説明、座談会兼相談会、病院見学を随時開催中です。参加希望の方はお申し込みフォームよりご確認ください。

お申し込みフォーム▼

